

子供手帳モデルに関する検討会について

1. 背景・課題（設置要領より）

今般、低出生体重児の増加や子育て環境の変化等の社会状況を踏まえ、子供の健康の保持・増進及び子育て支援をより一層推進することが求められている。

そこで、母子健康手帳をもとに、妊娠期から学齢期まで使用できるよう、子供の成長や健康に関する記録欄や子育て情報等を盛り込んだ手帳（以下「子供手帳」という。）のモデルに関し検討することとし、子供手帳モデルに関する検討会を設置する。

2. 検討内容について

① 子供手帳モデルの策定

母子健康手帳の活用状況やニーズ等に関する調査結果及び母子健康手帳の充実に取り組んだ先行事例等の情報を踏まえ、上記の背景・課題に基づき、母子健康手帳と同様に全ての妊産婦・保護者・乳幼児が使用することを想定したものとして、子供手帳モデルを策定する。（具体的な検討事項については、3. 子供手帳モデルの検討事項（案）を参照）

② 自治体や民間団体等による取組の整理等

上記調査結果や先行事例等の情報については子供手帳モデルに全て反映することが難しいため、区市町村の参考となるよう、以下の視点で整理し、報告書に盛り込む。

- ・ 特定のニーズに対応することを目的とした機能や内容を持つ手帳類について
- ・ 母子健康手帳を補完するツール（情報冊子、アプリ等）について
- ・ 母子健康手帳を交付する際の留意点等について

3. 子供手帳モデルの検討事項（案）

- ① 低出生体重児等に対応する記録欄等
- ② 学齢期にも対応する記録欄等
- ③ 妊娠や育児への不安の解消に資する情報
- ④ 父親の育児参画の促進に資する情報
- ⑤ 母子健康手帳を補完するツール
- ⑥ その他の検討事項

子供手帳モデルの検討における留意点

- ・ 手帳全体の構成について分量にも配慮しながら検討する。
- ・ 母子健康手帳の任意様式に対して新規に追加又は既存の内容の改善を検討する。
（省令様式は変更しない）
- ・ 手帳として活用できるよう様式全体として報告書の中で提示する。